



株式会社アドバンスト・メディア

平成30年3月期第2四半期

決算説明会資料

2017年11月8日



見通しに関する注意事項



- 本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。
- その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

1. 業績の概況

取締役 経営管理本部長
立松 克己

1-1. 連結損益計算書



単位：百万円

	平成30年3月期 第2四半期		平成29年3月期 第2四半期		対前年増減		主な要因
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	
売上高	1,424	100.0%	912	100.0%	512	56.1%	全ての部門で前期増し、特にCTI事業部、グラモが増収を牽引
原価	401	28.2%	340	37.3%	61	17.9%	大型のライセンス収入があり、原価率は計画より低減
売上総利益	1,023	71.8%	571	62.6%	452	79.2%	大型のライセンス収入があり、粗利益率は計画より向上
販売管理費	928	65.2%	841	92.2%	87	10.3%	ほぼ当初計画通り
営業利益	94	6.6%	△269	-29.5%	363	-	売上高の伸長、粗利益率の向上から黒字化を実現
経常利益	123	8.6%	△563	-61.7%	686	-	営業外利益の計上、前期為替差損293百万円計上
親会社に帰属する四半期純利益	122	8.6%	△548	-60.1%	670	-	

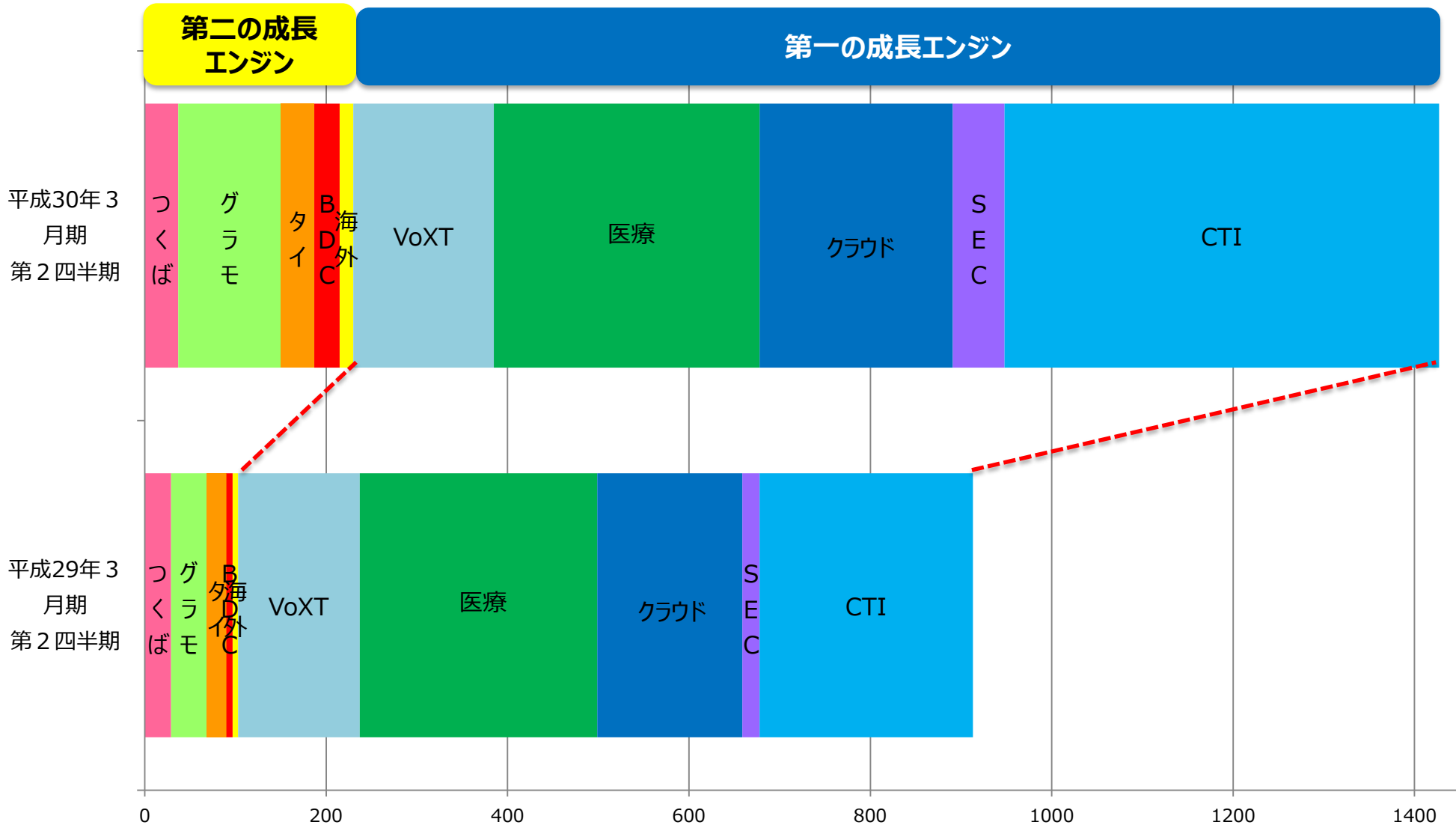
1-2. 分野別の売上実績①



単位：百万円

	平成30年3月期 第2四半期		平成29年3月期 第2四半期		対前年増減			
	金額	比率	金額	比率	金額	比率		
第一の成長 エンジン	CTI事業部	479	33.6%	235	25.8%	244	103.8%	
	SEC事業部	57	4.0%	19	2.1%	38	200.0%	
	クラウド事業部	213	15.0%	160	17.5%	53	33.1%	
	医療事業部	293	20.6%	262	28.7%	31	11.8%	
	VoXT事業部	155	10.9%	134	14.7%	21	15.7%	
第二の成長 エンジン	海外事業部	15	1.1%	6	0.7%	9	150.0%	
	ビジネス開発センター	28	2.0%	7	0.8%	21	300.0%	
	連結子会社	AMIVOICE THAI	37	2.6%	22	2.4%	15	68.2%
		グラモ	113	7.9%	39	4.3%	74	189.7%
		速記センターつくば	37	2.6%	29	3.2%	8	27.6%
連結調整	-9	-0.6%	-5	-0.5%	-4	-		
合計	1,424	100.0%	912	100.0%	512	56.1%		

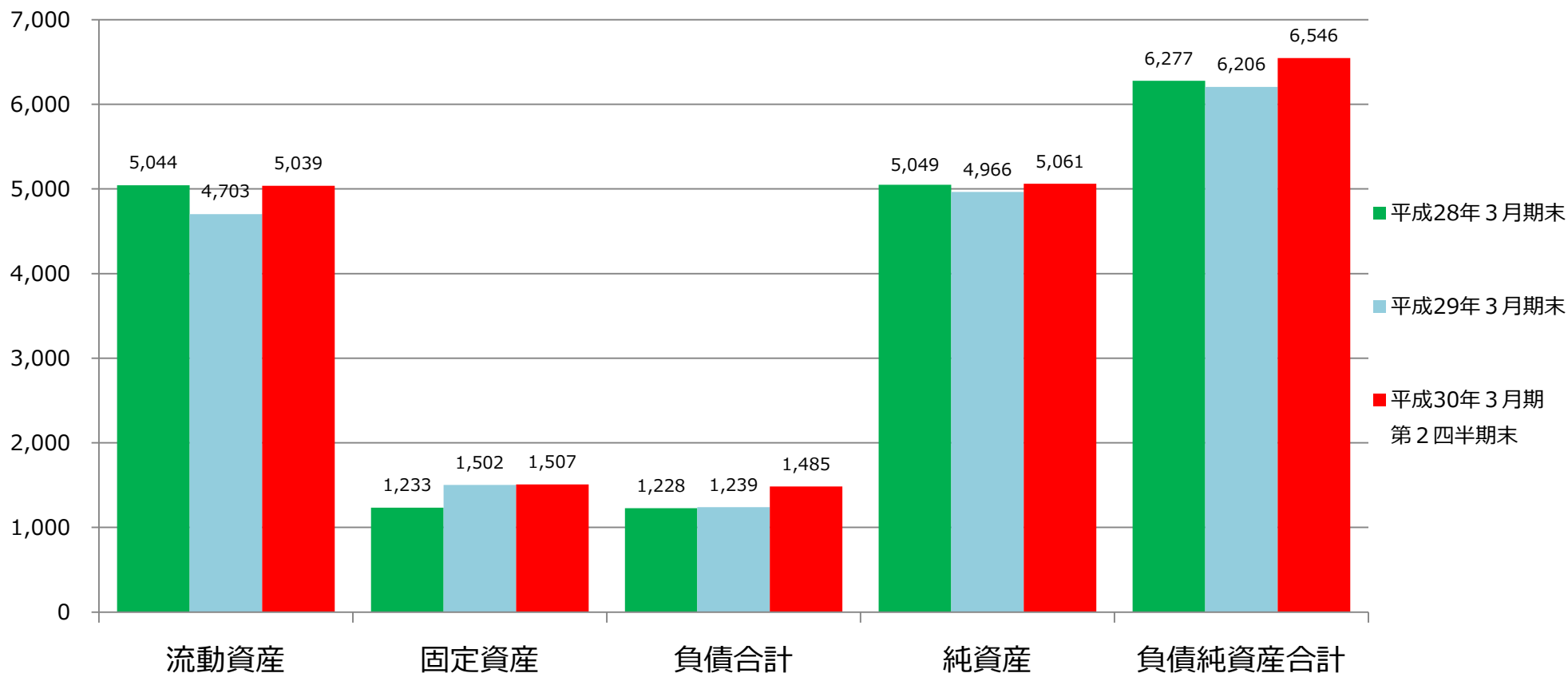
1-3. 分野別の売上実績②



1-4. 連結貸借対照表



単位：百万円



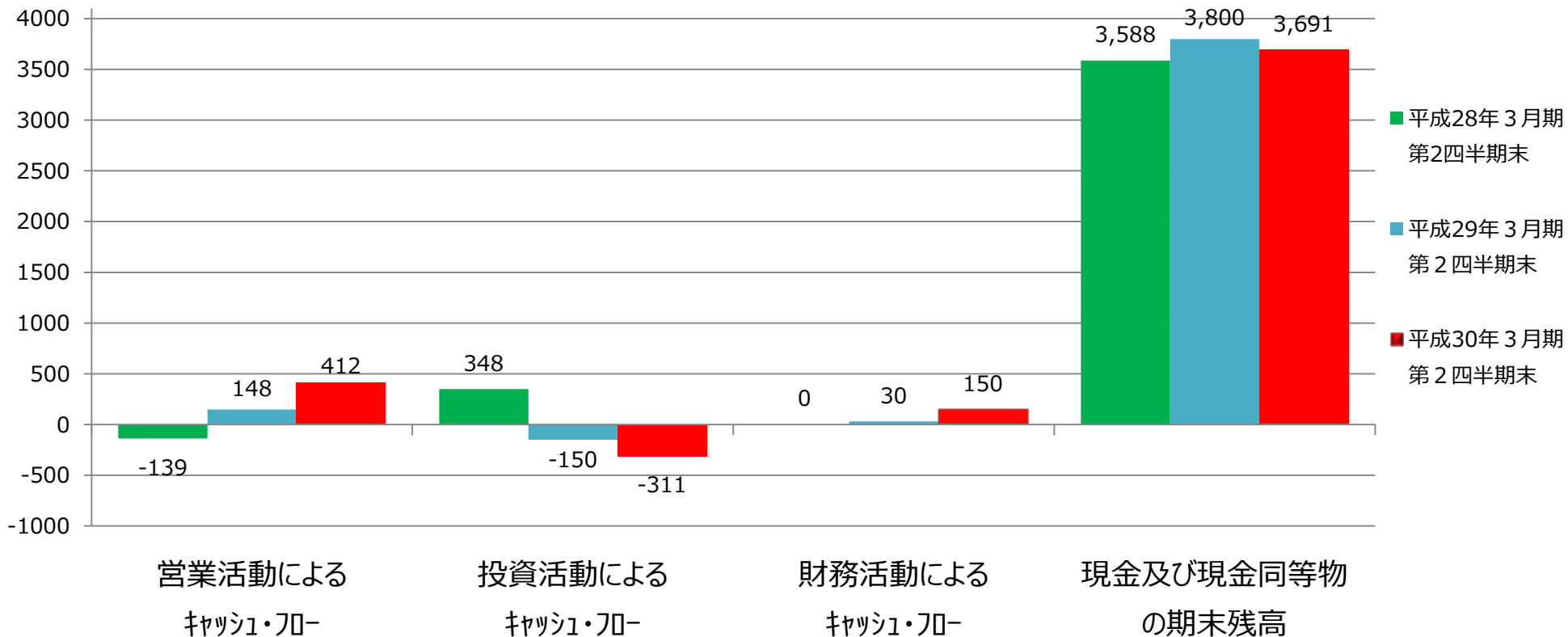
増減の要因

- 流動資産：現金および預金の増加
- 負債合計：長期借入金の増加（グラモの借り入れ）

1-5. キャッシュフロー計算書



単位：百万円



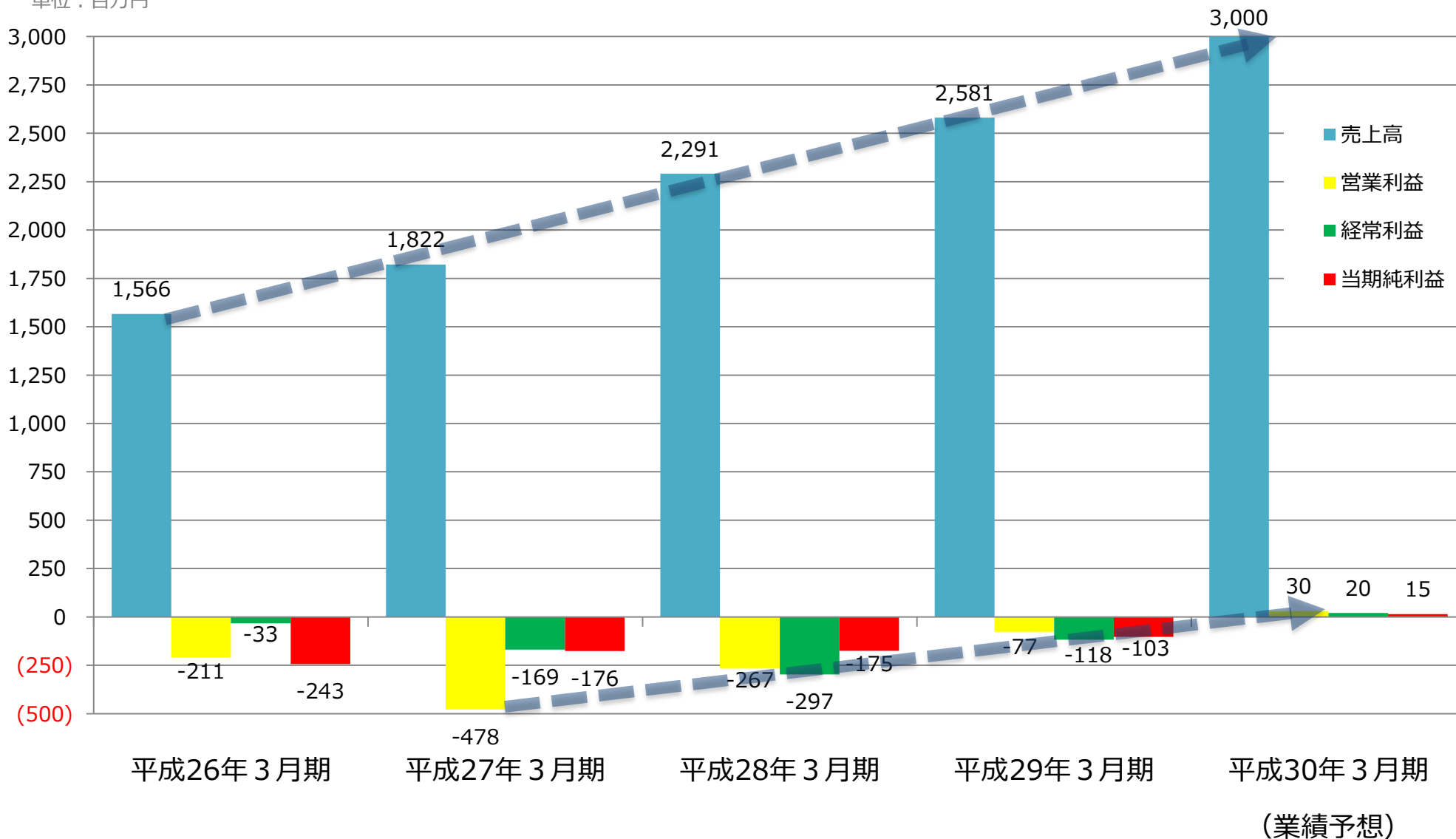
増減の要因

- 営業活動：売上債権の減少
- 投資活動：定期預金の預入による支出
- 財務活動：長期借入れによる収入

1-6. 業績の推移および今期計画



単位：百万円





2. 事業展開の概要

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸



2-1. 創立20周年



ありがとうの気持ちを込めて



昨日のありえないを、明日のあたりまえに。

**これまで支えていただいた
ステークホルダーの皆さまに感謝申し上げます。
培った「AI音声認識」と「音声認識AI」により
新たな未来を拓いてまいります。**

2-2. 事業拡大の取り組み実績

第一の成長エンジン（BSR1）

成長エンジン

1

CTI事業／医療事業／VoXT事業
クラウド事業／SEC事業

売上高

1,197百万円
前期比 47.8%増

営業
利益

前期の赤字から
黒字化を実現

当初計画を上回る
増収・増益を実現

第二の成長エンジン（BSR2）

成長エンジン

2

ビジネス開発センター／海外事業
AMIVOICE THAI／グラモ／速記センターつくば

売上高

230百万円
前期比 123.3%増

営業
利益

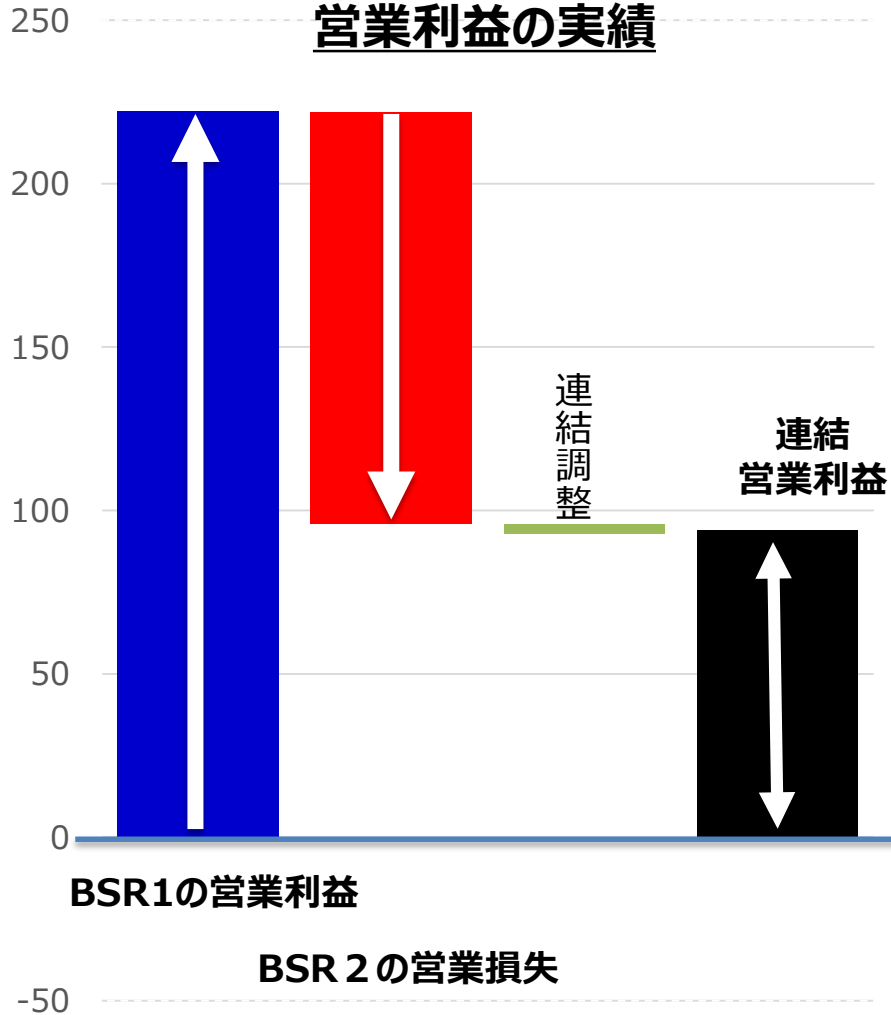
赤字幅を大幅に
縮小

当初計画を上回る
増収・営業損失の縮小

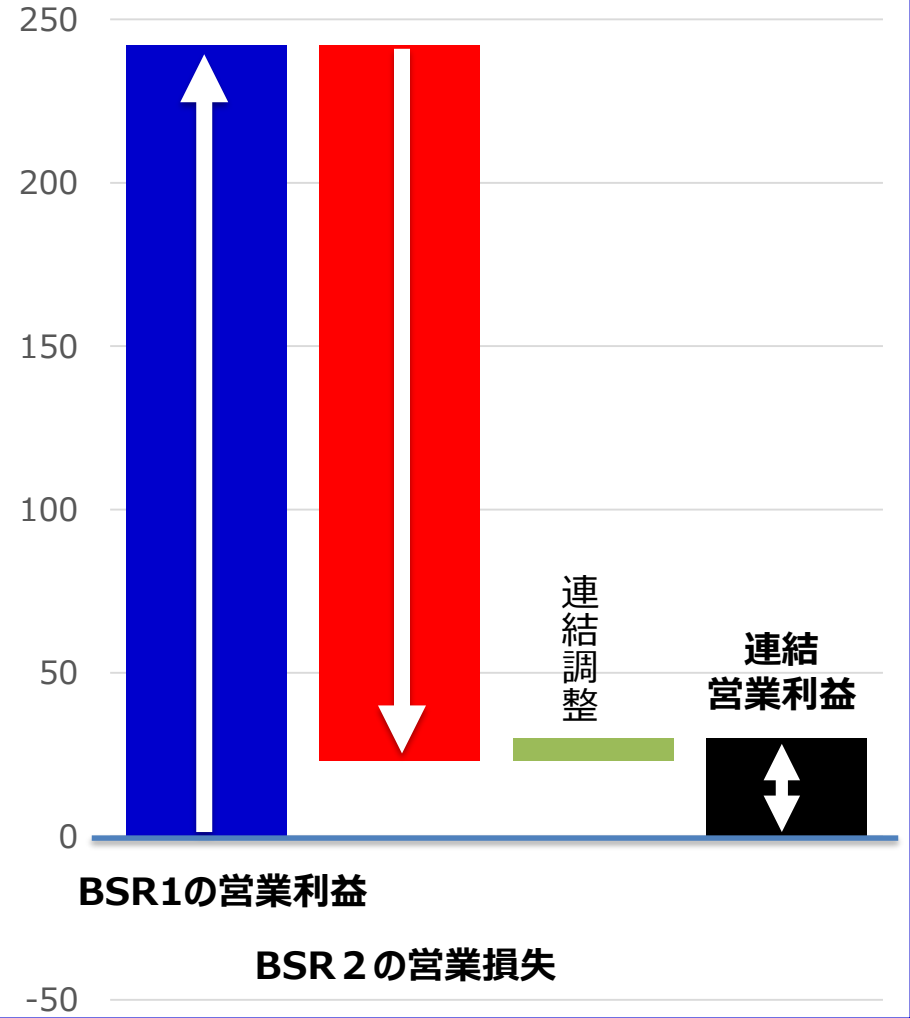
2-3. 営業利益黒字化の実現

平成30年3月期第2四半期

営業利益の実績



平成30年3月期営業利益の計画

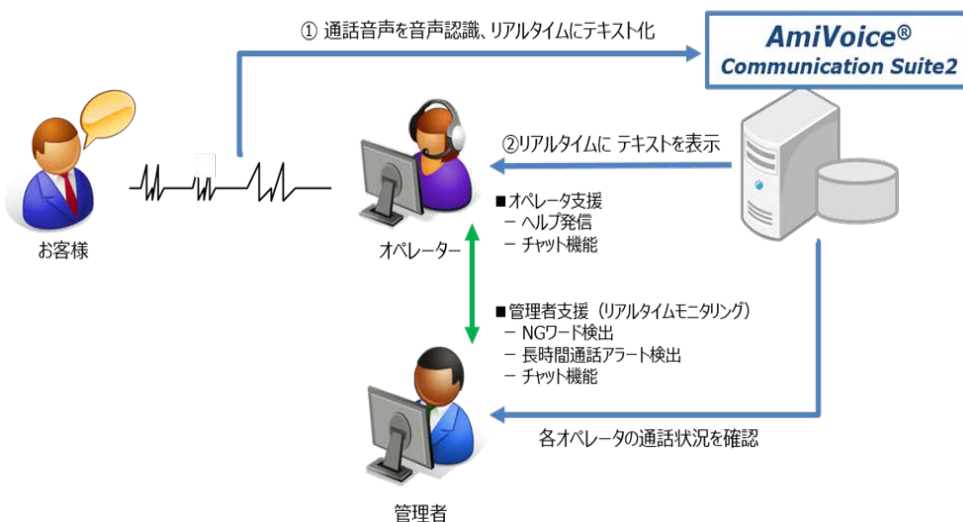


2-4. 事業トピックス①



CTI事業部 (BSR 1)

- コールセンター向け音声認識ソリューション「**AmiVoice® Communication Suite2**」が、イオンフィナンシャルサービス子会社であるイー・シー・エス債権管理回収株式会社や、三井住友カード株式会社に採用されるなど、大型案件の獲得が順調に進む



SEC事業部 (BSR 1)

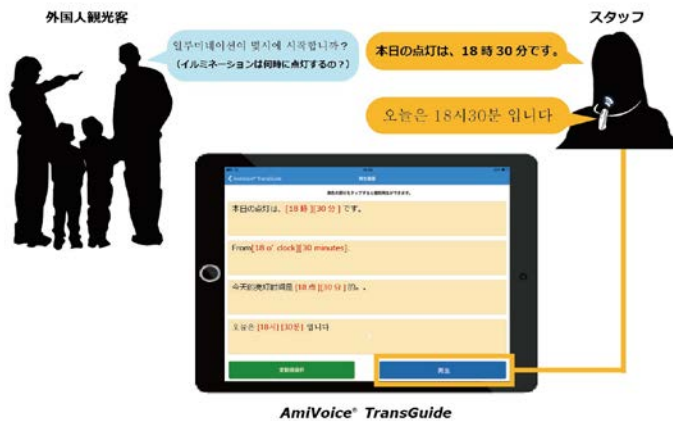
- 株式会社DeNAトラベルのカスタマーセンターにてAI対話ソリューション「**AmiAgent®**」を活用した「AIコンシェルジュ」の導入が開始
- 音声認識エンジンと対話エンジンを活用した自動応答コンタクトセンターサービスを拡販



2-5. 事業トピックス②

クラウド事業部 (BSR 1)

- ❑ 富士急行河口湖駅と富士山五合目バス乗場にて音声認識多言語翻訳アナウンスサービス「**AmiVoice® TransGuide**」の実証実験を開始
- ❑ 製造・物流分野での音声入力の需要が増大し、音声認識・対話に便利なウェアラブル・マイク端末「**AmiVoice® Front WT01**」を中心とした音声認識クラウドサービスの販売が好調に推移



医療事業部 (BSR 1)

- ❑ 音声認識を活用し、スマートフォンに話すだけで簡単に記録の作成・管理・共有が可能になる、訪問医療・介護向けクラウド型音声入力管理サービス「**AmiVoice® iVoX Medical**」を10月に販売開始
- ❑ 医療業界向けに製品のラインナップの拡充と拡販を推進



2-6. 事業トピックス③



VoXT事業部 (BSR 1)

- 音声認識技術 **AmiVoice®** を活用した議事録作成支援システムが明治安田生命保険相互会社の社内会議に採用
- 音声認識を活用して書き起こし業務を安価に効率化できる書き起こし業務支援システム「**AmiVoice® SpeechWriter**」の販売を開始

音声書き起こし後は、指定の書式に直接書き出し

行マーク	不審	メモ	経過時間	発音者	内容
●	□		00:00:02	全体	理事から始めさせていただきます。初めに私から言って話をさせていただきます。その上元の資料に基づいて決議事項一件、報告事項8件を順次進めていきたいと思っております。
○	□		00:00:18	全体	最初に一点だけ。先週報告書いただきました。クリックすると認識結果の音源が繰り返し再生
○	□		00:00:30	全体	中には厚紙に書き直ししなければならない事項や改善しなければならない事項もございました。
○	□		00:00:38	全体	これを再度確認しつつ、同じような指摘を避けたいように努めたいと思っております。
○	□		00:00:44	全体	続いて報告する事項に移ります。田中理事から報告いたします。
○	□		00:00:53	全体	報告します。報告事項の一項目は、平成22年度事業方針策定の確定です。以前承認したところと一部決算の関係で数字が回っていませんので、新しい数字を出し直さないことが仕組課題にありましたので、これが完全に確定したところで改めて事業方針のポイントだけ報告致します。
○	□		00:01:16	全体	資料については、5ページ、別紙1をごらんください。事業方針策定2ページに当たる平成22年度の主要
○	□		00:01:34	全体	認をいただいた時、発話単位(息継ぎのタイミング)で改行されるので、見やすく編集も簡単

編集画面

認識結果画面

海外事業部 (BSR 2)

- 既存顧客の拡張案件の獲得や、中国における新規顧客獲得に向けたパートナー戦略を推進

ビジネス開発センター (BSR 2)

- 人手不足が深刻化している建設業界に対して、建築図書保存/管理・配筋検査・配筋写真管理・建築仕上げ検査などの業務を効率化する建築工程管理プラットフォームサービス「**AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム**」の販売開始



2-7. 事業トピックス④



AMIVOICE THAI (連結子会社BSR2)

- 既存顧客の拡張案件および新規顧客の受注獲得等を進める

グラモ (連結子会社BSR2)

- 株式会社レオパレス21向け製品の納入やパネルメーカーなど大口顧客へのiRemoconの販売と拡販が堅調に進む

つくば (連結子会社BSR2)

- 自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得が進む



2-8. 平成30年3月期連結業績予想



売上高3,000百万円、営業利益30百万円

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績予想数値	3,000	30	20	15	0.94円
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	2,581	△77	△118	△103	△6.48円